

- ・コラム「やっぱ、クサルわ！」
- ・お知らせ(鮎喰川クリーンアップ
ホームページで回収申込できます
パート職員募集中)
- ・協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

176号/2017

Since 1984

「やっぱ、クサルわ！」

杉浦 良

「持ち込みです！」の声に、メンバーのAさんが車に積まれた衣装ハンガーを降ろしました。「有難うございました！」という挨拶と同時に、隣のお客さんの車に衣装ハンガーがコツリと当たりました。Aさんはドギマギしながら、その場を去ろうとしました。

「あかん！車を傷つけたわ！まずは謝らんと・・・」スタッフWがそれを見つけました。「す・す・すみません・・・」小さな声が聞こえました。

「大変申し訳ありません。修理代はこちらが支払ますので、お手数ですが一時立て替えていただいて、領収書をお持ちいただけませんか？」

そうWがお願いしました。幸い優しい方で、後日領収書をお持ちくださいました。所長ZとスタッフW、そしてメンバーAが謝り、お金をお渡ししました。



地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所、障害者地域共同作業所太陽と緑の会月の宮作業所では、「人も物も活かされる街づくり」に向けた取り組みを行っています。様々なハンディを持ったメンバーが、それぞれのできる仕事を担い、リユース・リサイクルの活動に関わっています。レジ(会計)も昼食交替を除き、2人のメンバーで担っています。

フラフラとコンテナケースを抱えて、メンバーのBさんが止めてある車の間を通り抜けました。コンテナケースが車に当たり、乗っておられた方が怒り心頭の状態です。

「あんなあ！傷つけておいて、そのまま行ってしまうんか！こら！」

通りがかったスタッフXに「お前んとこの従業員は、車に傷つけておいて、知らん顔して行っちゃったわ！どんな教育しとるんや！」メンバーBさんと呼んで、スタッフXと一緒に平謝りです。

「誠に申し訳ありません。修理代は支払いますので、領収書をお持ち頂くわけにはいかないでしょうか？」

有難い事に、この方も後日領収書を持ってきて下さり、所長Z、スタッフXとメンバーBが謝り、お金をお渡ししました。

「買った自転車積んでくれへんで？」とお客さんに頼まれたメンバーCさんが、後ろから自転車を載せようとした時です。自転車の端が車の後ろに当たりました。良く見ると傷が入りました。キョロキョロしながらメンバーCさんは、通りがかったスタッフYを呼び止めました。「傷が・・・」びっくりしてなかなか声になりません。スタッフYはCさんと一緒に謝り、修理代金をこちらが支払う旨を伝えました。

「沢山いるようだったら、言うわ・・・！」と、有難い言葉が返ってきました。

朝ミーティングで所長Zは、一連の出来事をみんなに伝えました。

「みんなが一生懸命頑張って作業しても、コツンと車に傷を付けたら4万円も5万円も直すのにかかるわけ。皆さんから頂いた衣類を、分類選別して、値段つけて、値札を付けて、売り場に並べて、レジでお金を頂いて・・・。一日150枚買ってもらうのって本当に大変よ！解るだろ？その売り上げが一回コツンとやると全部飛ぶんよ！学校の時先生に怒られるだけで済んだのかもしれないけど、一般社会では弁償せんと通らん。全部弁償しとったら、みんなの給料払えんわ！車が横にあったら注意する！車の間をコンテナ持って通らん！お客さんに頼まれても、やれないと思ったらお断りするか、どうしてもという時はスタッフを呼ぶ！」



新館での
陳列準備

いつもヘラヘラのメンバー達も、この時ばかりは真剣な表情です。言ったことがきちんと伝わり、理解できたとはとても思えませんが、所長の言葉にただならぬ迫力を感じたのか、神妙な顔つきの面々です。「どうせ、ちゃんと、やれへんわ！」と、一握りのメンバーだけを選べば簡単ですが、それでは、その他大勢はどうなる？という命題が残ります。切り捨てるのは簡単ですが、育てるのは労苦の連続です。

「半分はフォローするけど、残り半分は世間の風に当たらないと自分の足で立てなくなってしまいうし・・・社会性の獲得などと簡単に言うけど、こちらを身を削らんといかんから大変・・・続くと体にこたえるわ！」と、心で愚痴る所長Zの苦悩が読み取れます。

焦らず、慌てず、諦めず、そして・・・悪いけど・・・やっぱ・・・クサルわ！

(日々日常の出来事をイメージとして書きました)

お知らせ

鮎喰川クリーンアップ

4月30日(日)、5月2日(火)の2日間、鮎喰川河川敷クリーンアップを行いました。様々なハンディを持ったメンバーによる清掃活動は、平成13年5月から行っており、今年で18年目を迎えます。

午前中、杉浦が河川堤防道路に沿って、刈払機で草刈りを行いました。午後、月の宮作業所から戻ってきたメンバーのFさん、Oさんに、Aさんも加わり、ゴミ拾いのスタートです。

反射ベストを各々着用し、Fさんの先導で、草に埋もれていた空缶、ビニールなどのごみを拾い集めていきます。30分ほどで終了しました。

月数回の定期的な清掃活動も彼らが中心になって行っています。微力ではありますが、今後も続けていきたいと思えます。

お品物お引取のご依頼がホームページでできます

インターネットのホームページをリニューアルしました。

品物のお引き取りのお問い合わせのフォームに加え、見学・体験・研修のお問い合わせのフォームも新たに設けました。

活動時間内のご依頼やお問い合わせが難しい皆様にも、ご利用頂ければ幸いです。



作業所研修会

3月11日(土)午後、徳島市内のホテル千秋閣にて、無認可作業所からスタートした県内の作業所・事業所の研修懇親会が行われました。

今回は1971年に発表された映画「ぼくのなかの夜と朝」(監修近藤文雄、監督柳澤寿男)を見ていただきました。筋ジストロフィーという、現在も治療法の無い難病の子供たちに焦点を当てた、ドキュメンタリー作品です。障害者総合支援法が施行され、難病者もその対象として扱われることになったことがきっかけです。

「人間が生きることの意味を、厳しいけど突きつけられた感じ・・・。よう言えんけど考えさせられた・・・！」

「・・・研修会良かったよ・・・。涙流して見とった人もあったわ・・・！」

厳しい現実を突きつけられながら、そのテーマが皆さんの心に深く広く浸み込んでいったのでしょうか。46年も前の映画の説得力を思います。

講演・来所見学

2月22日(水)岡山県総合福祉・ボランティアセンター・NPO会館で、岡山県手をつなぐ育成会小規模事業所協議会研修会の講師として参加させていただきました。「これからの事業所のあり方について考える」と題して、当会の32年間の活動紹介を行いながら、こちらのコンセプトをお話ししました。

「どうして個別給付事業に移行しないの？」との問いに、日々日常の様々なハンディを持ったメンバー達とスタッフの作業ぶりを紹介することで、答えとさせて頂きました。沢山の質問に答えきれた自信はありませんが、皆様の今までのご苦勞と熱意に随分昔に感じた匂いを想いました。

3月16日(木)朝、大阪市西成区で就労継続B型事業所として喫茶店を運営されている、アザリアの皆さん30人が見学に来られました。皆さんからの質問も多く、12時近くまで、買い物もされながらの滞在となりました。

4月2日(日)マツサクぐるーぷの皆さんが来られました。那賀町で開催される「さくら祭」を見に行かれる途中の、定例となった訪問です。ハンディをもつメンバー達と自身電動車いすを操る代表のMさんが、リサイクルショップの運営などをされています。「雑巾を一日たくさん使うんよ！」と全自動洗濯機も購入されました。

定休日

水曜日、第2第4火曜日、及び祝日を定休日とさせて頂いております。

5月17日(水)23日(火)24日(水)31日(水)
6月7日(水)13日(火)14日(水)
6月21日(水)27日(火)28日(水)
7月5日(水)11日(火)12日(水)17日(月)
7月18日(火)(12月23日(祝日)開所の代替休み)19日(水)25日(火)26日(水)

なお定休日の品物のお持ち込みは、防犯上の理由によりご遠慮下さい。よろしく願い致します。

頂きました

毎年、蘭の差し入れを頂戴するAさんから、今年もシンビジュームと沢山のカップラーメンを頂きました。「心ある方からの寄付です」と新館入口に置いて、皆さんにお披露目です。

皆の食欲が旺盛で御飯が足りなくなった時やスタッフ会議の夜食用などに、カップ麺は大活躍です。有難うございました。

Mさんから静岡の
人気お土産が送られ
てきました。ミカンそ
っくりのお饅頭と風
味豊かなカツオ煎餅
に、メンバー達がどれ
にしようかと思案し
ていました。

27年前、1年間ボラ
ンティアとして静岡
から徳島にやってき
たMさん。初めての若
き女性として一年間
活躍してくれました。
ワークキャンプ事業
をスタートしたり、メ
ンバーたちと剣山や
三嶺に登山したり、思
い起こせばギュウギ
ユウ詰め活動に良
く付き合ってくれま
した。

その翌年、熊本出身
のKさんが二人目の
女性1年間ボランテ
ィアとして、当会で、
一癖二癖あるメンバ
ー達と日々日常の活
動を共にしてくれま
した。今振り返れば、
その行動力とエネル
ギーに、改めて凄さを
思います。

そのKさんからも
有難いお便りと共に、
貴重なお米やお漬物
を頂きました。

本当にありがとう
ございました。

パート職員募集中

様々なハンディを持ったメンバーと一緒に、小型ト
ラックで「回収活動」に取り組んでくれるパートスタ
ッフを募集しています。

普通運転免許(A T限定を除く)で安全に運転がで
き、1日3時間以上、週3日以上、活動できる方にお
願いしたいと考えています。

シニアの方も歓迎します。

(当会では、定年退職された4名のシニアの方がパートスタッフ
として、様々なハンディを持ったメンバーと一緒に、販売等の
活動に関わってくれています)

※詳細は特定非営利活動法人太陽と緑の会 小山まで



昼食のみそ汁作りと炊飯も(ボランティアではなく)メンバーが毎日行っています。

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2016年2月1日～2017年3月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

匿名、福澤、中西、ゆめバンクとくしま (寄付先指定)、匿名、匿名、匿名、中西、匿名
匿名 (郵便振替口座) 森、佐藤、三代田、武田

品物を持って来て下さった皆様 (郵送含む)

○徳島市○上田、梁、高尾、堀川、田中、豊崎医院、森田、フクイ、峯田、竹田、桑原、岩田、古川、半田、松田、麻植、大黒、藤井、池上、徳永、木元、川口、戸田、魚谷、馬越、小倉、栗林、南、永栄、川岡、吉田、出口、小山、早川、山下、多田、尾形、鈴江、川人、相原、大橋、辻、大塚、後藤、小亀、大久保、岩井、米原、本田、立石、東條、鶴羽、近藤、木戸、美馬、大畠、山本、松本、瀬戸、木下、吉富、水本、新居、上田、井原、中川、カシハラ、廣永、久保、岡山、森本、片山、松下、井川、塩江、石橋、関口、ぱんどう美容院、浦谷、竹内、井上、岡田、中尾、多田、寺田、岩崎、森、佐々木、木内、矢野、野口、杉本、岩見、小倉、今井、遠藤、内藤、阿部、灰谷、平井、吉本、菊本、太田、元木、上原、福島、高田、川口、日下、塚本、津地、岸本、さとう、田村、森本、常陸、ほり、富永、矢野、大木、堀部、河村、西川、倉崎、佐藤、宮崎、大岩、今獅々、南郷、北原、春田、陽地、郷司、池田、中西、篠原、安芸河野、大久保、武市、吉田、福田、宮川、大西、東條、池中、藤澤、熊本、朴、瀧本、伊丹、春野、笹原、薮原、後東、川人、長野、地域活動支援センターやまもも(梶本)、三木、藤岡、花田、中原、川野、坂東、木ノ桐、山脇、小林、貝出、川上、椋棒、デルゲルダライ、山川、西川、多田、岡、太田、山田、林、大本、鎌田、塩崎、西浦、進藤、岸、立川、山元、百々、UI、坂本、横幕、喜田、馬着、兼松、川尻、中野、大谷、山手、美世、津保、安田、大倉、水間、生越、領家、大橋、宮本、窪、木村、武知、高橋、櫻井、竹本、大川口、徳永、橋本、岡、フクイ、真鍋、植木○藍住町○黒川、折口、誉田、服部、永田、横田、堀内、三原、中山、岡本、内輪、江口、岡田、福井、田中○吉野川市○吉村、折原、片岡、吉田、栩窪、小松原、楠木、南、立川、竹中、安田、藤川○美馬市○東山、鴻池○佐藤○阿波市○岡田、山本、大道、横山、武田、辰巳、笹○石井町○森本、遠藤、石本、秋山、阿部、広瀬、秋山、中東、井上、美馬、山本、堀江、丸大、山西、嶋田、多田、中村、太田、藤田、池田、田上、佐々木、藤田、以西、平野、オザキ○阿南市○武市、板東、原、北内、住友、藤江、吉川、阿部○鳴門市○芝、足田、浦川、山本、(株)旅サポート、喜田、新田、ヴェロニカ、宮本、谷口、今枝、高田○北島町○佐川、今市、萩原○小松島市○尾山、伊槻、宮田、多田○那賀町○西田○松茂町○森島、森内○板野町○五條、吉野○神山町○宮城、カワノ、織田○東みよし町○リーデル、瀬本、田中○上板町○湯浅、安岡○勝浦町○大久保○山口県○安達○大阪府○永口、永口○広島県○福澤○千葉県○石塚、池田○奈良県○平田○香川県○多田、吉岡○兵庫県○村主

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○徳島県東部整備局 岩根、達村、本田、上野、村上、毛利、戸部、笹田、吉川、松本、杉山、披田、石川、志摩、大黒、林、山田、江原、岸、山本、大家、太田、山中、笠井、長尾、八巻、美馬、乾、井原、木村、田村、横関、河原、山口、竹原、横田、松、谷、平山、小坂、森、楠本、小川、後藤、黒川、村山、仁木、峯田、菅生、堀内、山川、吉成、市川、川西、大住、大久保、斎藤、宮本、清水、今井、手越、増田、藤井、久米川、吉岡、富永、鈴木、生長の家(佐伯)、柏木、佐藤、山本、日下、田村、森下、市川、大黒、浦上、財田、真鍋、福田、横山、小室、林、出口、佐藤、合田、西岡、Dコム、井内、中、森田、井関、片山、三木、早淵、吉田、戸出、土肥、寺田、熊本、細井、宇治製薬、峯田、宮越、住吉薬品、向、川上、山田、為実、トップ ウェー、大前、流、植田、西田、住友、長谷部、坂東、梅本、真沢、大櫛、中島、工藤、梶本、堀、名賀石、細川、新居、高橋、山西、夏木、伊藤、福石、栗坂、生田、岡、永田、山下、上園、於久、重田、堀川、庄野、浅雄、玉川、浦上、森本、竹位、戎、川原、今田、石川、雲財、古川、浜村、松田、片寄、米澤、内田、橋本、沖州ホットチャペル、多田、福本、大智、細川、内藤、岩崎、小倉、坂東、川端、鈴江、大黒、木村、不動アスコン、金品、遠藤、山田、福田、岡田、水野、

岩田、川岡、鶴和○鳴門市○岩田、脇田、河口、山室、志宇知(鉄工所)、辻、久龍、田淵、三木、牧野、前田、大森、多田、麻植○藍住町○吉田、阿部、川野、近藤、西川、鳥養、真田○北島町○結城、松下、竹内、丸山○石井町○河野、大草○吉野川市○谷、後藤、岡田、小原(建設)、牛島小学校○阿波市○笹、岩間、川田、中澤、久保○板野町○竹内、高橋○阿南市○原、吉谷、佐野○小松島市○内藤、富永、藤中、宮内、ひのみね支援学校○松茂町○清水、長岡

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の皆様からご協力を頂いております。またお野菜を差し入れて下さった吉田様、阿部様、自家製天然酵母パンを差し入れて下さった柴田様、お品物を丁寧に梱包して徳島県内外より郵送して下さった皆様、その他の皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます。

頂いた品物は大切に活用させて頂きます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」と記入して頂ければ幸いです。



編集後記～「回収エリアの変更」

専任職員の退職に伴い、トラックで自宅まで品物のお引き取りにお伺いするエリアを徳島市内のみとさせて頂くことにしました。

太陽と緑の会リサイクル作業所の33年の歴史の中で初めてのことです。

回収にお伺いさせて頂いた方のご近所の方や知り合いの方がご依頼のお電話を下さったり、公民館や研修会で活動の話させて頂いたことや見学に来られたことがきっかけで品物を提供して下さるようになったり、様々なご縁の積み重ねの中で「今」があります。20年以上継続的にお品物を提供して下さった方もおられ、本当に申し訳ないことと思います。

20数年前、引き取りのご依頼を頂けば、遠方でもお伺いし、明らかなゴミとお仏壇を除けば、ほとんどのお品物を無料でお引

き取りさせて頂いていました。県西部の三野町(車で片道80分)や県南部の海部町(車で片道2時間)にまでお伺いしたこともあります。トラック3台に分かれて地域別に回収にお伺いしたり、家財道具一式のお引き取りのご依頼で1日2往復することもよくありました。

※当時は自治体のごみ減量対策として簡易焼却炉(ドラム缶)を配布し、家庭での焼却処理が奨励され、一般家庭の粗大ごみも無料かつ事前申込不要のステーション方式で収集されていました。

しかし、平成13年4月の家電リサイクル法により、テレビ、冷蔵庫、洗濯機等の処分には高額のリサイクル料金が必要となり、翌年12月の廃棄物処理法改正により規定の構造基準を満たさない焼却炉の使用は禁じられるようになりました。

処分のハードルが高くなったことで、お引き取りについても、品物によっては制限せざるをえなくなりました。

活動を始めた当初「リサイクル」という言葉自体使われることが稀で、いわゆる「リサイクルショップ」も徳島にはなく、「古着は徳島では売れない」「人が袖を通した服など着られるか」と言われました。

33年後の今、リサイクルショップが林立するだけでなく、インターネットを通じて個人や企業が中古品の売買をすることも日常的になっています。

様々なハンディを持ったメンバーが「主役」の活動とはいえ、価格設定、品揃え、ディスプレイといった販売領域に8割以上のウェイトをかけなければリユースに

結びつけることはできず、活動の持続が難しくなってきました。

ライフスタイルの変化、多様化に伴い、無料引取による大型家具を限られた店舗スペースでリユースにつなげることも難しくなってきました。

処分のハードルもリユースのハードルも上がっていく中で、なるべく公的資金に軸足を置かない「人も物も活かされる街づくり」の持続可能な展開を模索していきたいと思います。

今後ともよろしくお願い致します。

(文責 小山)



メンバーと回収に出発



レジ(会計)もメンバーが担当

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街作り」をテーマに、ハンディーのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。

発行：NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-642-1054
(地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所)
代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎
協力者名簿作成 岡田
ゆうメール押印・タックシール添付 堀
製本・発送作業 岡田 福住 大木

年会費：正会員 1万円 (総会議決権・事業決算報告)
準会員 1,000円 (機関誌発送)
郵便振替口座：01620-8-44703